平成９年４月25日 第３種郵便物認可

民主 PRESS MINSHU

号外

埼玉県第14区
八潮版

八潮市議会議員
大久保たつお

八潮市議会レポート
民主・市民クラブ代表 大久保龍雄

まっすぐに！ひたむきに！

〒340-0802
八潮市鶴ヶ曽根2014
TEL/FAX048(996)8618
t-ookubo34@kusanone.jp

2010年10月 NO.16

22年６月議会　　６月１日より18日まで開催

22年第２回定例会は上記のとおり開催され、専決処分関係３議案、補正予算２議案、条例改正等９議案２つの追加議案、意見書３件を審議しました。また、「八條地区に係る早期土地利用活用実現の為の手法の見直しに関する請願書」が一部地権者の連名で提出されました。内容は区画整理による土地開発手法ではなく民間開発が可能な都市計画法第34条12号の指定と建物の高さを現在の規制では15mのところ25mまで可能にすることです。具体的には**民間企業の流通基地の建設です。**

私は、北部地区は唯一八潮市に残された緑豊な地区であり、文教施設がある地区であること（八條中・八條北小）外環パーキングエリア計画地であること等、大所高所からの議論をすべきと考えました。企業誘致の必要性は認めるところですが、建設水道常任委員会（大久保たつおは加わっていない）で２時間程度の議論で結論を出すべきではないと考え、**継続審査**すべきと思い本請願には反対しました。

一般質問　　１、環境問題

今回も沢山の方が傍聴に来て頂き、感謝いたします。

Q　河川の水質汚濁が全国的な問題となっているが、**原因の70%が家庭雑排水**といわれています。八潮市では平成37年度まで生活排水処理普及率を100%にする計画だが21年度の下水道と合併浄化槽の構成率は

A　下水道が67.4%　合併浄化槽が14.8%

Q　１年間でそれぞれ1.1%、0.１%の進捗率であるがこの程度で計画とおり出来ますか

A　なんとかしたい

Q　37年度の行政人口予測は

A　推定71,100人

Q　八潮市の人口が減少すると言う事か普及率に関係してくる数字だが

A　県の推定ではそうなります

Q　水洗化率（下水道共用開始地区で接続された人）が88．8%だがこれによる下水道料金の未収額は

A　最大で年間38,702,000円です

Q　接続しない理由は

A　主に経済的な理由と住宅事情

Q　条例では一年以内に接続しなければならないとあるが、強制力は

A　特別の事情があればよいとあるので強制はむずかしい

Q　合併浄化槽への転換につき以前、国・県の補助制度を活用すべきと提案したがその後の検討は

A　大久保議員ご指摘の国の制度を活用した補助制度を検討する

Q　浄化槽法７条（使用後３ヶ月後から８ヶ月後まで）11条（年に１回）ではそれぞれ検査を受けなければならないとあるが市民への啓発活動は

A　基本的には県が行うが、市でも協力している

Q　11条の年に１回受けないと最終的に**30万円以下の過料**とある。八潮市の受検率はわずか1.4%だ

市民の皆様は知らずに違法行為を行っていることになる。市長は県に予算要求し、啓発活動すべきではないか。また、職員にたいしても受検を勧めるべきではないか

A　県と協力し行ってまいりたい。

大久保たつおの想い

単独浄化槽から**合併浄化槽**への転換につきましては以前、取り上げたように国や県から基準額（約 40 万円）のそれぞれ 3 分の 1 ずつ補助制度があります。残りの 3 分の 1 は市が出さなければなりませんが計画的に件数を決めて行えばできます。今回は前向きな答弁でしたので、実施に向け努力致します。また、浄化槽の**法定検査**（業者の点検とは別です）につきましては次代にきれいな環境をとの想いから取り上げました。私の住む鶴一町会では役員の皆様にご理解をいただき、回覧版を回し検査のお願いをしました。190 世帯中 27 世帯からの依頼があり、受検率が 10 倍の 14.2%になりました。（まだゞ少ない）車で言えば車検と同じです。費用は標準的な家庭で 5,000 円ですが今回とくに検査機関の協力を頂き、500 円のカードが特典としてあります。

＊市民の皆様の受検をお勧めいたします。

2、土地利用について

Q　第 4 次八潮市総合計画では土地利用構想として「都市核」「地域核」としてそれぞれ記載があるが、より具体的な土地利用計画の策定を行うべきと考えるが

A　事業化する段階で策定すべきものと考える

Q　**それでは遅い！**・・なぜなら構想では規制ができない。調整地区は資材置場になり、分家住宅が建つ。**将来開発する場合、コストも時間もかかる。**現段階での規制は

A　策定中の街つくり条例で一定規模の土地は規制したいが現段階では難しい

Q　地域住民の皆様に将来像をお示しするためのＢ調査の予定は

A　市の考え方をお示しするＢ調査は行う　（注：その後 9 月議会で可決）

Q　ネクスコのパーキングエリア計画がある。整備手法は統一性が必要だが市としてはどの様な整備手法がよいと思うか

A　民間開発ではなく区画整理による開発

Q　市長の考えは

A　答弁は部長と同じ。Ａ調査は議会の承認を得た。引き続きＢ調査を行う。方針は変わらない

大久保たつおの想い

偶然ですが冒頭の請願に関係する質問になりました。市は基本的に民間開発にたいしＮＯと答えました。であるなら早急に利用計画を示し、コストと時間の短縮を図るべきです。八潮駅が南の玄関なら外環道のパーキングエリアは北の玄関になり得る地区です。道の駅構想やスマートインター（出口）等考えられます。八潮市を通過点ではなく経済の発展につなげて行く必要があります。

ご報告　　3 月議会で訴えました「南川崎保育所のバラ組さん」の延長保育が 10 月より実施されます。

7 月 12 日　大原小体育館にて五年生 104 人。川の環境問題で。熱心に聞いてくれました。

21 年 12 月議会で提案したドラム缶を実際に設置されているご家庭がありました。
治水対策に有効です。

9月議会　　9月1日より21日まで開催

22年度第3回定例会は上記日程で開催されました。平成21年度決算関係12議案・22年度補正予算関係12議案・条例関係6議案・その他4議案の計34議案を審査しました。長引く不況対策では市内の建設業者にリフォーム等の工事を発注した場合の助成として3,100万円**(1件限度額10万円)**が決定されました。これは畳の表替えでもクロス張替えでもペンキ工事でも対象になりますので**必ず工事を行う前**に市役所商工観光課にお問い合わせ下さい。

一般質問　　1、財政問題

Q　一般財源に占める経費充当額を示すものが**「経常収支比率」**だが、八潮市は健全といわれる75%を大きく上回る90.2%（平成21年度）だが、経費は人件費・扶助費・公債費が主なものだが八潮市は職種別割合で見ると事務職が県内40市平均55.5%のところ64.8%だ。これは**年間約4億円**に当たる。事務職の多い理由を

A　本市には市立病院や市立高校がなく結果として事務職割合が高い。しかし職員数の適正化や総人件費の抑制に努めたい

Q　**納得できない！**すべての市に病院や高校はない！逆に消防職がない自治体もある。(吉川市は松伏町と組合）八潮市も同様であれば75%にはねあがる。では全国の類似団体41市との比較で人口10,000人当たり、**職員数が2.8人、つまり23人多い**。認めますか

A　総務省が示す人口・産業構造での類似団体との比較はそのとおりです

Q　全国並みにすれば**約1億5千万円**の削減になる。計画では来年度2人削減だが経常収支比率が90.2%といえ借金である臨時財政対策債の9億8,390万円を歳入に入れてではないか！入れなければ**96.7%**になる。**つまり一般財源のほとんどが義務的経費への支出だ**。　2人削減では危機感がないが！

A　事務量を各課・部で提出し計画的に行っているのでご理解を頂きたい

Q　平成17年から22年まで国の指針により4.6%削減しなければならなかったが、八潮市は計画より1人多い33人削減した。これは賞賛に値するが17年の臨時職員数は

A　158人です

Q　平成21年度は221人だ。一方で職員を33人減らし、一方では**臨時職員を63人増**やしている！しかも物件費扱いだ。市民要望にお応えする為にも仕事を分かち合い、職員の適正配置をし、生産性を上げ最小の経費で最大の効果を上げることが求められている。改善することで政策的経費・裁量的経費を捻出することにより多種多様な市民要望にお応えすることが出来る。**市長の見解を**

A　現在、年齢構成で50歳代が多く、総じて人件費が多くなっている。あと何年かすれば改善できると思う。

大久保たつおの想い

文中にもあるように一般財源（約148億円）のほとんどが義務的経費になってしまいます。市長にはもっとリーダーシップを発揮し、改善に取組んで頂きたい。

市民の皆様は不思議にお思いになられると思います（建設費・土木費等はどうなっているの？）八潮市は国庫支出金約55億円と県支出金約11億円、そして借金の約30億円、その他の諸収入で、賄っています

人件費総額約55億円はもちろん委託料や物件費等の大胆な見直しが必要です。

2、教育問題　　一時間では時間がたらない！

Q　平成22年度より、小中一貫教育における教育課程の全面実施を行い、その成果を大いに期待するところですが本年4月26日さいたま市を除く県内全公立小（5年生）中（2年生）を対象に学習状況調査（テスト）が行われた。埼玉県教育委員会のホームページを見ると八潮市平均が県平均をすべての教科で下回っている。この結果を教育委員会はどうとらえますか

A　この結果を重く受け止めています。具体策として①教員一人ひとりが危機感と責任を持ってこの結果に向き合う②結果についての分析を各校で十分に行う③保護者にも結果を伝え、家庭学習の充実を図る④指導課として今まで以上に指導を強化する⑤学力向上のための事業の見直しと新規事業を検討する　　**学力を向上させていく覚悟です。**

Q　個別に県平均を上回った学校は

A　小学校では 10 校中 3 校・中学校では 5 校中 1 校が半数近く上回った

Q　それは生徒数の多少と関係しているか

A　関係は見当たらない

Q　であるなら個々人の問題になる。教育委員会はここ数年、不登校の問題や給食費滞納対策等努力をされ、成果を上げているが、保護者の協力やもっとこの問題に関心をもって頂かなければならない。意識改革として私は 21 年 12 月議会で小学校の**通知表**にたいし提案したが、検討の状況を

A　**大久保議員**からの提案を受け、すでに検討委員会を立ち上げ、まさに検討中です

Q　昨年行われた全国学力テストでは保護者の年収が高いほど子供の学力が高いという大変残念なまたある意味残酷な結果がでた。しかし公立校として地域の子供たちの基礎学力を上げるぞ！と言う気概を各校の先生方には持っていただきたい。習熟度に合わせた宿題や学力が向上した地域の事例も参考になる。現場の先生は大変とは思いますが宜しくお願いしたい。また、同時に行われた調査で気になる事項があります。**朝ごはんを取ってこない**小学生が 12%・中学生で 24.7%もいます。保護者の協力も必要ですし、学力向上にはソフト面と同時にハード面も考えなければいけないと思います。いわゆる環境整備です。私は 9 月 6 日八條小・八潮中・八條北小の 3 校を温度計を持って教室の温度を測りに行きました。授業中でしたが各校長先生に案内いただき行いました。外気温 34.5 度、各校 34 度から 36 度、北小 4 階窓際 40 度でした。文科省の示す**学校環境衛生基準**をいずれも上回っている。この環境で勉強するのはきつい事はおわかりになると思います。そこで私は文科省に連絡をとり、大臣官房文教施設助成課整備計画係に空調整備につき問い合わせしたがその中で助成制度がある事を聞いた。国の助成制度はご存知ですね（新築 1/2・改修工事 1/3）

A　存じています

Q　知っていると言う事は試算されたのか

A　はい、4 億 2,946 万円です

Q　私が試算した金額は約その半分だが、それは実際工事を行う場合に申し上げますが、人間は学力だけが全てではない事は以前にも申し上げた。思いやりや人との協調性も必要だが、心配しているのは24年度から高校入試が1発試験になる。その時選ぶ高校がないではその子の**一生に関わる問題だ。**八潮市は中学校で 5 名の語学指導助手（外国人）に 1,920 万円・小学校は 4 名に 1,536 万円を支給しているが、今回のテストの結果をみるとはたしてその効果はどうかの検証も必要ではないか。日本人の先生も厳しい試験に合格し、優秀だ。質問１で示した経常収支比率を改善し、エアコン整備に当てることや単年度で無理なら複数年で計画的にやればできると考えるが教育長の見解を

A　部長答弁にありました五つの項目はすべて「する・行う」となっています。**決意の表れです。**危機感をもちしっかりやっていく。また、「環境は人を育てるが、その環境は人がつくる」の言葉とおり検討したい。

大久保たつおの想い

県内では和光市・さいたま市・戸田市等エアコンをすでに設置した地域もあります。以前、視察した東京品川の小中一体校が脳裏に焼きついています。同じ義務教育です。子供は親を選ぶことが出来ないように住む地域を選べません。**例え一歩でも近づきたい！その想いです。**

大久保たつおは年 2 回レポートを発行しています。バックナンバーご希望の方はご連絡下さい。